


えりも町議会

議会だより

平成29年11月1日

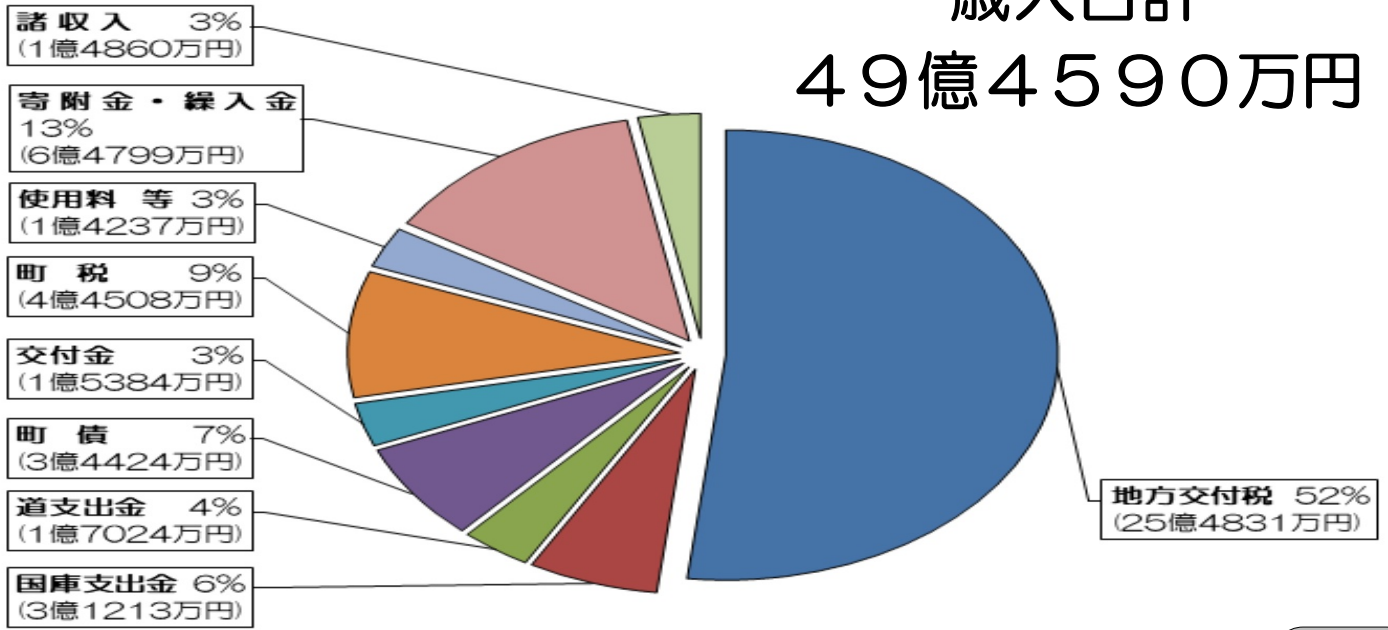
No.23

- 
- P2-3 平成28年度決算報告
- P4 平成29年度9月定例会
- P5 平成28年度決算審査意見報告
- P6 町との協議事項・意見書
- P7-9 一般質問4名 6件
- P10 子ども議会開催のお知らせ
- P11 議員と語る会における要望
と町の回答
- P12 「この人に聞く」

日高南部森林管理署えりも治山事業所
農林水産技官 瓜田さんにインタビュー

歳入合計

49億4590万円



平成28年度

一般会計決算のあらまし

歳入と続く町財政 地方交付税も減少

歳入

一般会計の歳入は、町税が2037万円、財政調整基金からの繰入金が1億1475万円前年度から増加したものの、地方交付税が1億8656万円、ふるさと納税寄附金が1億1701万円、町債が1億100万円など減少したため、前年度比3億2431万円減、率にして6・2%の減となりました。

歳出

消防関連機器のデジタル化の終了や、ふるさと納税お礼の品の減により補助費等が1億5361万円の減、特別会計への繰出金等も7706万円の減となりました。
公債費は、4429万円減少。
地方債残高も2億7324万円減少し、54億2913万円となりました。

一般会計ほか6会計

決算総額72億946万円

を認定可決

9月14日から2日間にわたり開かれた第3回定例会では平成28年度各種会計決算など、議案14件、認定7件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

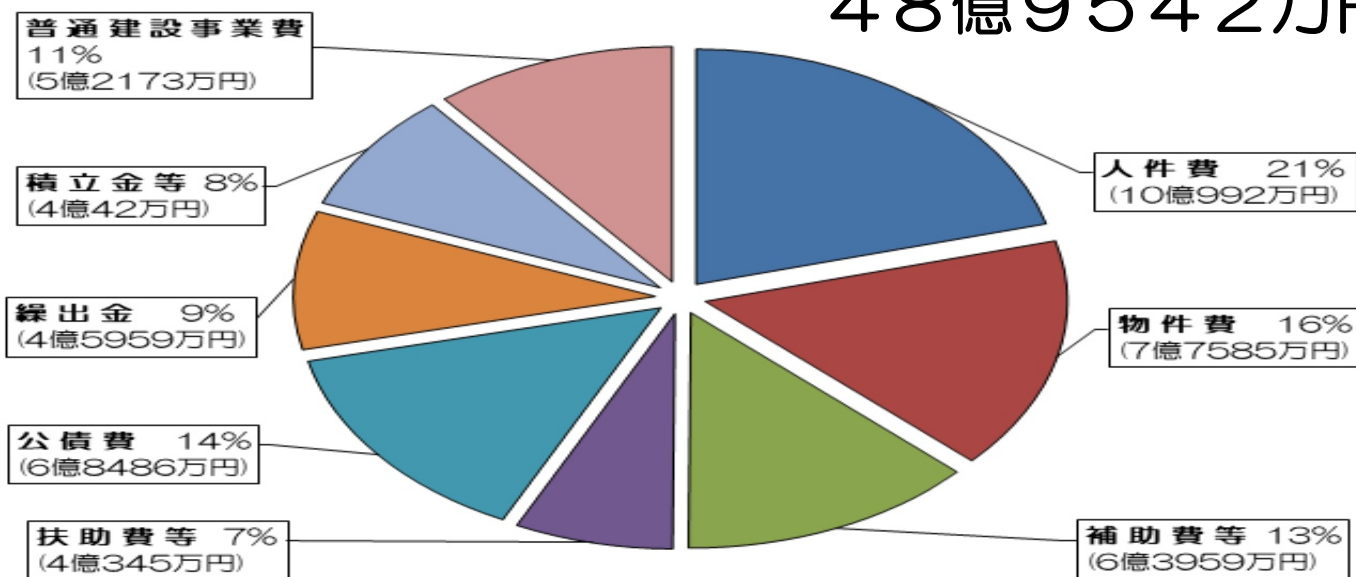
○平成28年度えりも町会計別決算総括表

(※千円以下四捨五入のため合計は一致しません)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	49億4590万円	48億9542万円	5048万円
国民健康保険特別会計	12億2410万円	12億183万円	2227万円
簡易水道特別会計	1億2637万円	1億2489万円	147万円
診療所特別会計	3億5512万円	3億5292万円	220万円
下水道特別会計	1億9084万円	1億9015万円	69万円
介護保険特別会計	3億8483万円	3億8378万円	105万円
後期高齢者医療特別会計	6118万円	6046万円	72万円
合計	72億8834万円	72億946万円	7888万円

歳出合計

48億9542万円



○平成28年度えりも町一般会計性質別歳出の状況

表の見方

○性質別項目

・主な使用用途

①	決算額
②	1世帯当の金額
③	1町民当の金額

○人件費

- ・職員の給与、議員報酬
- ・共済組合等の負担金他

①	1,009,922千円
②	471,926円
③	208,575円

○扶助費

- ・障害者介護、訓練等給付
- ・児童手当等・臨時福祉給付

①	291,066千円
②	136,012円
③	60,113円

○公債費

- ・公債の償還（返済）や
利子の支払いに要する経費

①	684,861千円
②	320,029円
③	141,442円

○物件費

- ・教育用コンピュータ・施設
備品購入費・各種施設管理
委託費・消耗品・光熱費・
燃料費・臨時保育士賃金

①	775,849千円
②	362,546円
③	160,233円

○繰出金

- ・国民健康保険診療所、下水
道等の特別会計への繰出し

①	459,592千円
②	214,763円
③	94,918円

○積立金

- ・利益金の一部を留保して蓄
積するもの。

①	332,400千円
②	155,327円
③	68,649円

○普通建設事業費

- ・橋梁長寿命化・森林基幹道えりも線改修
- ・公営住宅建設・中学校体育館耐震化
- ・草地畜産基盤整備事業・教員住宅建設
- ・岬小学校外壁等改修・岬保育所改修
- ・高校グラウンド改修・旧日黒小中学校改修
- ・情報セキュリティ強化対策
- ・水産物供給基盤機能保全事業負担金

①	521,734千円
②	243,801円
③	107,752円

○補助費

- ・日高東部消防・衛生組合へ
の負担金・その他負担金

①	639,593千円
②	298,875円
③	132,093円

○貸付金

- ・産業振興資金・奨学資金
- ・労働者福利厚生資金

①	68,020千円
②	31,785円
③	14,048円

○維持補修費

- ・公共施設や公営住宅等の維持管理
- ・道路維持・河川維持・港湾管理

①	112,382千円
②	52,515円
③	23,210円



えりも町議会第3回定例会

補正予算

◎一般会計予算に3900万円を追加

歳入

・地方交付税

1451万円

・保育料軽減支援補助金
(保育料軽減のための道からの補助金) 184万円

・保育所使用料

(保育料軽減による使用料収入の減) ▲142万円

歳出

・栽培漁業センター施設復旧負担金(火災復旧のための負担金) 330万円

・本町商店街組合補助金

(クリスマスツリー購入費) 75万円

・外国青年招致渡航費用負担金(新外国語教師旅費等) 15万円

・えりも高校通学費補助金(えりも高校通学費を半額程度補助) 54万円

◎国民健康保険特別会計予算に1490万円を追加

◎診療所特別会計予算に130万円を追加

◎介護保険特別会計予算に40万円を追加

◎後期高齢者医療特別会計予算に20万円を追加

条例改正

◎町税条例の一部を改正

国の税制改正において、配偶者控除を満額受けられる配偶者の年収上限を現行の「103万円」から「150万円」に引き上げること、納税義務者の合計所得金額が1千万円を超えると適用外となることなど、配偶者控除・配偶者特別控除が見直されることに伴う規定の整備。

◎公営住宅管理条例の一部を改正

認知症、知的障害等の理由により収入申告をすることが困難な場合、その義務を免除できるようにする規定の整備。

◎放課後児童クラブ設置条例の一部を改正

平成30年度から、庶野放課後児童クラブを開設することに伴う規定の整備。

その他

◎日高地区交通災害共済組合の解散及び財産の処分について

日高管内7町で構成する当組合では、臨時会において加入率の低下による解散及び剰余金の各町への配分を決定し、各町の議会の議決が必要ため提案するもの。
全員賛成 可決

今後の日程

平成30年4月

会員募集停止

平成31年3月まで

見舞金の支給

平成31年3月31日

財産の確定

平成31年4～6月

財産の処分

表紙の説明

翌日 台風が北海道に上陸かと心配される中、9月17日(日)は秋晴れに恵まれ、本町の住吉神社秋季例大祭の本祭が行われ、約40人の白丁姿の若者に担がれたみこしが威勢よく町を練り歩き、見物客の拍手喝采を浴びました。
(かめや旅館前にて)

監査委員、決算審査意見を報告

今回は、決算審査意見書の中から「収入未済額」について抜粋して掲載します。

えりも町監査委員 代表 小関孝雄
えりも町監査委員 高松亮裕

決算審査とは、町長から付された決算書等について審査を実施し、監査委員の合議によって審査結果に関する意見書を作成し町長に提出するものです。

収入未済額について

平成28年度末の一般会計の**収入未済額**は、1億6,929万9,232円であり、前年比899万3,600円、5.6%の増となっております。また、特別会計を含む全会計での未済額は、5億493万7,470円で、6.7%、3,152万8,331円の増となりました。

負担の公平性を確保するためにも引き続き、収納対策会議等の場で情報を共有し、全庁的な課題として適切な対応を図り、収入未済額の縮減に取り組まれます。

町税(国民健康保険税を含む)の不納欠損額は、283万9,776円(前年度1,074万2609円)であります。**不納欠損処分**については、関係法令に則り適正に処理されているものと認められますが、負担の公平及び歳入確保の面での影響が大きく慎重かつ厳正な取扱いが求められるものであり、今後、各課で抱えている収入未済額の不納欠損処理については、各担当課の連携を密にし、町全体の取組みとしての確な対応に努めていただきたい。

収入未済額

納期限までに支払われていない税金や使用料・水道料などの額。(滞納額とほぼ同じ)

不納欠損処分

相続の放棄や時効の成立によって徴収が不可能となり損金として処理すること

平成28年度決算審査審議を終えて

決算特別委員会 委員長 笹谷 廣喜

9月14日、15日の2日間開催されました9月定例会において、決算特別委員会が設置され私が大変重大な職責であります委員長に選任されました。

審査を付託されました案件は、「平成28年度、一般会計」及び「6特別会計」の歳入歳出決算報告の件であります。

審議が開始されてからは、終始、活発な質疑応答がなされ委員会採決、続く本会議での採決の結果「平成28年度全会計」の決算が認定されました。

また、委員をはじめ理事者、説明員の皆様には審議の円滑な運営にご協力をいただいたことに、厚くお礼申し上げます。

町財政が依然として厳しい状況にある中、各会計の未納金について非常に厳しい意見が出されました。

納税指導の徹底と収納率の向上に向けた取り組み、創意工夫による徹底した歳出の削減に一層努め、より効果的な行財政の運営に期待する所であります。

今後の町の発展と住みやすいえりも町になるよう、私達も努力してまいります。

紅葉の季節となり、日も一日と短くなってきた今日この頃ですが、皆様が事故無く健康で活躍されますこと、そして好漁になる事を願い結びといたします。



町との協議事項

①栽培漁業センターの復旧について

町の負担分が330万円になる。
(産業振興課)

②えりも高校の通学費の補助について

えりも高校に通学する生徒に、定期券など通学費の補助を行いたい。えりも高校の二間口を維持する為と保護者の負担軽減を目的とする。
(教育支援課)

③えりも高校の海外研修について

今年度は国際情勢の不安定を理由に中止とする事、又今後の研修先の変更も視野にいれ関係者と協議する。
(教育支援課)



火災が発生した栽培漁業センター

④診療所内科医師について

診療所の内科医師が辞職したことから、町として関係機関や人脈を通じて全力で医師の確保に努めていく。
(診療所)

⑤旧肉牛牧場における大型風力発電事業の計画について

旧肉牛牧場において大型風力発電事業の計画が3社から出されており将来性も考えた上で慎重に判断する。
(企画課)

⑥日高線の協議状況及びJRバスの減便について

JR日高線の調査・検討協議会はDMVを含む各交通システムの導入要件や費用等に関する調査を委託した。JRバス日勝線の減便について新聞報道があったがその後撤回され当分は現状維持。
(企画課)

⑦様似町との最終処分ごみ広域処理に向けた協議状況について

様似町との基本合意に伴い、今後発生する経費の負担については様似町の負担とすること、又各種計画の変更を北海道と協議する必要がある

道の指導のもと、2町間で協議し開始時期を定めることとする。
(町民生活課)



えりも町の最終処分場

決議案

①北朝鮮のミサイル及び核実験に抗議する決議

・8月29日のミサイル発射と9月3日の核実験について東アジアの平和と安全の為、強く抗議する。

②一部議員が議事の進行を妨げ、秩序を乱したことにへの決議

・当該議員に対して議場での発言や行動に注意を促したものを。

2件とも全会一致で可決

意見書の提出

①介護保険制度の見直しを求める意見書

・サービスの削減や利用料の引き上げをせず施設の整備と介護従事者の処遇改善を求める。

②安心・安全の医療の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書

・一人夜勤の解消など医療・介護における労働環境改善の為の意見書。

③全国的、総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律の早期制定を求める意見書

④林業・木材産業の成長産業化に向けた対策の充実・強化を求める意見書

・市町村が継続的に森林整備ができるように「森林環境税」の創設を求め、林産業発展のための支援の充実・強化を求めるもの。

4件とも全会一致で可決

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

問 防災無線の保守点検は

答 見直しや強化も含め適切な対応・対策をとりたい



鈴木 勇高議員

問 鈴木議員

北朝鮮のミサイル発射で、全国瞬時警報システム（Ｊアラート）を伝える防災行政無線の音声流れなかった。保守点検はどうなっているのか。

答 企画課長

今回、装置の不具合で放送が流れないトラブルが発生したことに、町民の皆様にご迷惑をおかけし、深くお詫びを申し上げます。

その後は、不具合があったとみられる部分

の装置を取り替え、動作確認を行い、万が一、同様の事象が発生した場合は、職員が手動で対応することにした。メーカー側では「普段みられない事象だ」ということで、調査に時間を要しており、来週中には正式回答との連絡がきており、今後保守点検の見直しや強化に適切な対応、対策をとっていく。



不具合のあった装置

問 公設民営の店舗出店を

答 今のところ検討していない

問 鈴木議員

新聞の報道によると人口減で採算の悪化したスーパーが撤退したり、その恐れが高まった地域で、市町村が建設費を補助する「公設民営」店舗が、道内で相次いでいる。えりも町も人口減や採算の悪化等の理由で

答 産業振興課長

閉店している店舗が相当あることから、対策が必要と考えるが、公設民営の出店について補助を実施する考えがなにか。また町長公約の「空き店舗再活用及び新規開店支援」は、どのような内容で、どこまで進んでいるのか。

当町も近年売り上げ減等様々な理由で閉店している店舗が出てくることは承知している。公設民営の出店の補助については、その地域から店舗が撤退し、地域住民の要望があるところとなっており、現在、えりも町では、スーパー、コンビニ、ガソリンスタンド等、民間の店舗が営業を行っており現状では地域住民からの要望等もないことから、公設民営について今のところ補助することは検討していない。

しかし、今後増々経営環境が厳しくなると考えられる商工業者に対する支援等については、商工会や日高信金と、融資制度の内容、方法、問題点や課題等について協議を行っている。「空き店舗再活用及び新規開店支援」も含め、店舗のリニューアルや設備の更新等にも対応すべく、協議を進めている。



空き店舗が目立つ本町商店街

問 えりも高校への水産系学科の設立を

答 水産系学科設立は難しい



議員 橋本 維広

問 橋本議員

えりも高校のこれらを考え、将来地域を支える人材育成、他町より生徒を確保できるような高校になってほしいと考えることから①えりもの地域性を生かした水産学科の設立を検討できないか。

答 教育長

① 中学、高校含めた漁業希望進路は、毎年2〜4名、この5年間は、進学が6割弱、就職が4割強、最近では医療看護や福祉系への進学、各種サービス業への就職が多くを占める。水産系教育課程の編成となると多額の投資や環境整備が必要で、総合的に考える時、水産系学科転換は難しい状況。

答 産業振興課長

③ 平成28年度より北海道立漁業研修所の総合研修受講者に対し、助成制度を開始。平成28年度は、3名がこの補助制度を活用し、今年度も1名が研修に励んでいる。

総合研修に係る給食費以外の経費は、この助成額で賄う事が出来ている状況なので現状の助成としたい。

また、資格取得費について、助成している市町村があるので、町としても漁業後継者の育成は、今後の漁業振興において重要な事と考えるので、どのような支援が後継者育成に繋がるか漁協とも協議・検討したい。



えりも高校の様子

問 エゾシカ解体処理能力の向上を

答 委託業者と協議検討しよう



議員 大坂 庄吉

問 大坂議員

えりも地区においてエゾシカは猟友会の協力により捕獲され、解体処理施設へ持ち込まれている。処理作業員は現在1名で解体が行われ、苦勞して捕獲しても限られた頭数しか処理できないと聞いている。

答 どれ位か。

答 産業振興課長

① 後継者の問題も含め増員することや施設の有効活用等について、今後業務委託している事業者と協議・検討していきたい。

② 平成28年度の実績では、各月により処理頭数にばらつきがあり、1日当たり5頭から8頭の処理がなされ、多い日には1日で10頭処理した日もある。

③ 町内のエゾシカの生息数については、現状、どの機関においても把握できていないが、庶野く歌別の区間の約40キロのコースでは、平成23年には148頭を数えており、ここ数年は、500〜600頭となっていて、平成22・23年のピークからは減少した状況と推測される。



エゾシカの解体処理、以前は2名体制だったが



高松 亮裕議員

問 放課後児童クラブ4年生以上にも

答 当面は現状維持も、アンケートで意向を確認

問 高松議員

本町にある放課後児童クラブは現在、1〜3年生までの利用に限られている。

平成28年度の利用状況は登録者数46名だが、実際には一番多い2月で1日平均22名、1番少ない8月で1日平均11名である。

国の運営指針では1人当たり1・65㎡以上の広さが必要だが、当施設に当てはめると定員は74名まで可能ということになる。

4年生になると自動的に利用できなくなるが、まだ利用したいという児童がいるのであれば、その希望をかなえてあげべきだし、以上のような数字上の結果から見ると対象範囲を広げることが可能ではないかと考えるが見解を伺いたい。



放課後児童クラブで遊ぶ児童ら

答 教育支援課長

平成24年度開設時、当時の児童福祉法の規定に基づき対象児童を小学1〜3年生としてスタートしたが、平成27年に「6年生まで利用することが望ましい」と法改正された。

国の運営指針では1つの児童クラブの児童数は概ね40人以下とされており、昨年度の1日の最大利用児童は31名であり40名に近い。また、年齢や発達の状況が異なる子どもを同時にかつ継続的に育成支援するため、安全面での管理が必要であ

問 保育料軽減いつから

答 4月にさかのぼって実施

さらに、開設当初よりも登録者数が増加傾向にあり当面は現状のままとしたい。これまで、児童クラブには4年生になってからも利用したいとの話は届いていないが今後、アンケートで意向を確認しながら希望者がいれば、施設の検討を含め協議していきたい。

問 高松議員

道は子育て支援策の一環として、年収640万円未満の世帯の保育料を、第1子の年齢に関係なく第2子以降の3歳未満児は無償化する事業を始めるが、①この事業によって保育所に通わせている世帯のうち、何世帯何人が保育料軽減の対象になるのか。②この事業は保育料無償化の費用を道と町が折半して行うものだが道の補助と同額程度、町の負担が生じると考えてよいか。③浦河町は4月にさかのぼって実施することだがえりも町はいつから実施するのか。

答 町民生活課長

今回は国の軽減策に加え道独自の補助事業となる。①8月末時点で、入所

児童の合計は100世帯138人であり今回の事業で14世帯14人が負担軽減の対象となる。②本来、当町においても道の補助額と同額程度の負担となるが、当町の保育料が国基準の約半額であるため、道の補助額で対象世帯の保育料が賄えるため、現時点では町の負担は生じない。③浦河町と同様、4月にさかのぼって実施したい。



学習会のお遊戯を練習する1才児

- ④ 様似町のごみ処理に係る新聞報道・・・H29.3.18（道新朝刊）
「えりも町が2018年度から様似町の廃棄物を年間約100トンを受け入れることで合意」とする記事
- ⑤ 様似町へ「当方の認識とは異なる報道内容であり遺憾である」旨を通知・・・H29.4.6
- ⑥ 様似町長来庁（報道記事に関する謝罪と基本合意書締結に向けての協議要請）・・・H29.5.1
- ⑦ 議会に経過報告・・・H29.5.26
- ⑧ 今後に向けた町の考え方
隣町として協力していかなければならない問題であると認識し、様似町とどのような合意案が妥当であるか議会協議を経ながら、適宜、広報等を活用し町民への周知を図っていききたい。

要望3 診療所駐車場の強風対策

回答 強風対策として ①ブロック塀設置 ②ポリカ折板の設置 が考えられますが、課題や問題点も多く、その他の方法についても議会と協議しながら、より効果的な対策を検討していききたい。

要望4 日黒荒磯地区護岸の再整備の実施

回答 室蘭開発建設部浦河事務所に対し要望していますが、直近ではH29.8.21に「平成28年度に補修を完了しており、消波機能を回復したと考えているが、引き続き調査を実施し、越波の発生状況や交通状況等を勘案し、整備の必要性を検討していく」との回答を得ています。
町としても再整備の実現に向けて今後も積極的に取り組んでいきます。

要望5 黄金道路境浜地区の海岸浸食箇所及早急な整備

回答 室蘭開発建設部浦河事務所に対し要望していますが、直近ではH29.8.21に「海岸が浸食されていることは把握しており、現時点では対策計画はないが、浸食が進行していることから今後対策検討していきます」との回答を得ており、町としても積極的に取り組んでいきます。

第8回子ども議会開催のお知らせ

【子ども達に納得してもらえる答えは】

開催日時 平成29年11月7日（火）
午後3時～午後4時30分
開催場所 えりも町役場 3F 議場
子ども議員 各小学校（5校）から1名ずつ、
中学校3名、高校生3名 計11名



子ども議会は、町内の小・中・高校生子ども達が議員としてえりも町に対して町づくりや教育行政など、身近なテーマについて一般質問形式で町長や教育長に質問・提案を行います。

町長はじめ教育長が提案をどのように今後の町づくりにいかしていくのか、子ども達に納得してもらえる答えはできるのか。

子ども達が、この体験で行政の意義や仕組みを理解してもらえて、町政に興味を持ってもらえればありがたいです。

どなたでも傍聴できますので是非お越し下さい。

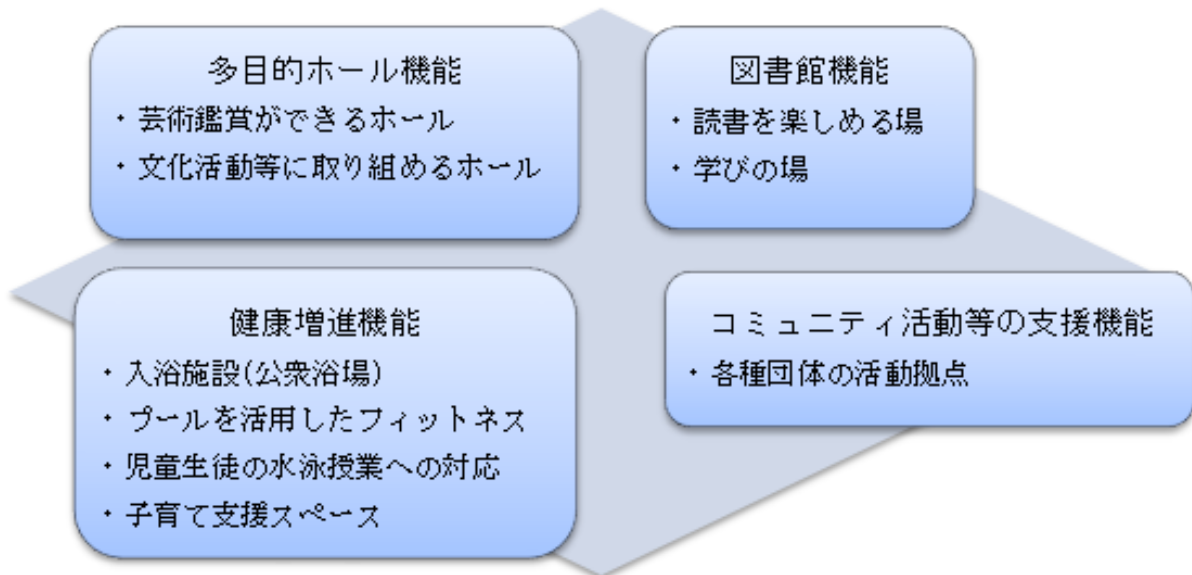
議員と語る会における要望と町の回答

第5回議会報告会を町内9会場で開催し、町民の皆様より数多くの意見・要望をいただきました。次の5件については、特に重要と判断し、その実施について検討するよう町に要請したところ、この度その回答を得ました。

要望1 複合施設建設の内容と進捗状況の説明

回答 これまで町民アンケートを実施し、総合計画策定審議会において、基本的な考え方を協議・整理し、その案を地区別町政懇談会、議員協議会、自治会長会議で説明してきました。この間、複合施設整備のための基金条例を制定し、本年6月議会で基本設計の予算を計上しております。

1. 施設の多機能化・複合化



2. 施設の建設場所等

陸上競技場とその北側の未利用地を候補地とし、温水プール、青少年会館跡地の活用も考慮します。施設の規模に関しては、既存施設の延床面積を上限として、コンパクト化に努めます。

要望2 様似町からのごみ受け入れ要請の経緯を町民に周知

回答 平成29年7月4日開催の自治会長会議において、様似町からのごみ受け入れに係る申入れ事項等の一連の経緯について次のとおり説明しました。

- ① 様似町長から「最終処分ごみの広域処理」について要請 (H25. 11. 7)
- ② 当町の最終処分場埋立状況及び埋立可能年数についての調査
- ③ 様似町の求めに応じて協議を継続

- ※当町の考え方
- ・当町のごみ処理仕様に合わせてほしいこと
 - ・当町へのごみ搬入に際しては相応の経費負担を求めたいこと

- ※様似町の意向
- ・搬入物は焼却灰(当町の仕様に合わせたもの)と不燃破砕物の2種類
 - ・合意書の締結と平成30年度からの搬入開始を希望

この人に聞く

日高南部森林管理署
えりも治山事業所

農林水産技官

うりた もとみ

瓜田 元美さん



今回の「この人に聞く」は、今年度より日高南部森林管理署 えりも治山事業所 農林水産技官 瓜田元美さんにインタビューしてきました。(取材・川村)

Q 出身地・学歴は？

A 札幌生まれ・岩手大学卒

Q えりも町の印象は？

A 海産物が新鮮で何を食べても美味しいです。元々、ウニはあまり得意ではなかったのですが、えりもの春ウニは甘み強く、食べたあと

幸せな気持ちになりました。

あとは今まで内陸に住んでいたので、綺麗な海に感動します。天気が良い日は

青い海がキラキラ輝き、夕暮れ時にはオレンジ色に染まる空のグラデーションが日々違っていて、通勤しながら今日も綺麗だなと眺めています。

Q この職業を選ばれた理由は？

A 元々、森林や自然が好きで実際に関わる仕事がしたくて選びました。

Q 趣味は？好きな食べ物

A 元々、森林や自然が好きで実際に関わる仕事がしたくて選びました。

は何ですか？

A 登山、ドライブ、甘味全般

Q えりもに来て特にこれはしたいという事はありますか？

A 海・山にも近く自然豊かな所なので両方楽しめれば良いと思います。豊似岳登山や豊似湖でナキウサギも見てみたいし、海ではシーカヤックもできるようなので挑戦してみたいです。

Q 仕事をするうえで気を付けていることは何ですか？

A えりも治山事業所は百人浜国有林緑化事業を行っている、えりも岬沿いのク

ロマツ林の管理をしています。えりも岬周辺では特に風が強かったり、霧が濃かったりと木が育つ上で気象条件が厳しく特殊な所で、私自身学ぶべき所が沢山あります。一緒に仕事をする周りの方の話によく耳を傾け、意見を出し合いながら仕事をしたいです。また他と違うところとして長年、関係者と地元の方の試行錯誤の上に、現在の海岸の緑豊かなクロマツ林が成り立っています。今でも様々な場面でご協力頂き感謝しています。今後とも宜しくお願いします。

議会の動き

8月14日	灯台祭り海上安全祈願祭
8月22日	議会広報研修会
9月6日	議会運営委員会
9月14日	全員協議会
	第3回定例会 決算特別委員会
9月15日	決算特別委員会
	第3回定例会 広報広聴常任委員会
9月19日	日高地区林活議連役員会
9月29日	管内軽種馬議連役員会
10月18日	広報広聴常任委員会
10月24日	日高管内町村議会正副議長・常任委員長研修会
10月31日	二常任委員会合同所管事務調査



JICA海外研修生にえりもの森林を説明中

編集後記

今、10月23日午前11時、超大型台風21号が三陸沖を北東に進み、まもなくえりも岬沖を通過します。被害がなければと祈るばかりです。

さて、議会は、平成28年度の決算審査を終え、安堵しているところですが、人口減少時代を迎え、厳しい町財政は続いていくものと思わなければなりません。少しでも多くの情報を伝えるため「議会だより」の発行に奮闘していますが、より充実し、皆様に「読んでもらえる」紙面にしていきたいと考えていますので、多くのご意見・ご感想をお聞かせ願えればと思います。(高松)

広報広聴常任委員会委員

- 委員長 高松 亮裕
- 副委員長 大坂 庄吉
- 委員 川村 一治
- 石川 昭彦
- 橋本 維応